

平成29年度 国語科「国語」SYLLABUS

単位数	5単位（うち書写1単位）	学科・学年・学級	普通科 第1学年 全クラス
教科書	伝え合う言葉（教育出版）	副教材等	教科書準拠「Keyワーク」「中学生の文法教室（全教材）」 「国語便覧（浜島書店）」「語彙力を高める語彙1560」

1. 学習の到達目標

① 論述力を養う
② 語彙力を培う
③ 読書を推進する

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
前期	4	詩	『河童と蛙』 『ふしぎ』	詩を鑑賞したり自分で詩を書いたりすることを通して日本語の様々な表現に触れ、言葉を工夫して使うことの面白さに気づく。	朗読
	5	文法 物語	ことばの単位 『オツベルと象』	文章・段落・文・文節・単語という単位について理解する。語り手の概念を理解し、作品の構成や展開の理解に役立てる。	音読 単元テスト 定期考査
	6	古文	川柳 『東海道中膝栗毛』	古典文学を読み、長い歴史の中で言葉が変化していることを知る。	音読 ノート 単元テスト
	7	説明文	「笑顔という魔法」 「電子レンジの発想」 「言葉のゆれを考える」	説明文を読み、段落の構成を理解する。	音読 ノート 定期考査
	9	文法 古文	文の成分 『竹取物語』	主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。 古典文学の現代語訳を読み、内容を読解する。	ノート 単元テスト
後期	10	漢文 説明文	故事成語 「花の形に秘められたふしぎ」	いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 指示語や接続語のはたらきを理解する。	音読 ノート 定期考査
	11	説明文	「言葉がたなく世界遺産」 問題演習	具体と抽象の概念を理解し、文章の要旨を理解する。	音読 ノート 単元テスト
後期	12	評論文	副教材	指示語や接続語が文章中でどのように使われているかを確認する。 論述問題を解答する方法を習得する。	音読 ノート 定期考査
	1	物語 言語知識	『音を追いかけて』 副教材	登場人物の心情や行動の変化に着目し、作品の理解を深める。 ことわざ、慣用句、四字熟語などを覚え、語彙を増やす	音読 ノート 単元テスト
	2	小説 漢字	『少年の日の思い出』 熟語の構成	論理的に文章を分析し、一つひとつの言葉に意味やはたらきがあることを理解する。 熟語の構成の基本的な型を知る。	音読 ノート 単元テスト
	3	評論文	副教材	指示語や接続語、具体例などを的確に用いて論理的な文章を書く。	音読 ノート 定期考査

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えをまとめ、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ、構成を考え、自分の気持ちを根拠を明確にして文章に書いている。

読 む 能 力	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしている。
知識 ・ 理解	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を楷書で書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。

#### 4. 評価法

授業に取り組む姿勢や授業中の発問評価で関心・意欲・態度、単元ごとの小テスト、プリント学習のまとめテストの得点を平常点として評価し、定期考査で知識・表現力・理解度の評価を行う。これらを合計した得点を評定とするが平常点の得点は全体の二割程度とする。

#### 5. 担当者からのメッセージ

言語を扱うことに親しむとともに、言葉は自分が他人とかわるための道具であることを理解し、読み手や聞き手を意識して表現を工夫したり、書いた文章を推敲したり、適切な言葉を選択したりすることができるようになることを目指したい。